

# ボランティア活動の心得

## 1. ボランティアとして、守っていただきたい病院からのお願い

- ①全ての患者さんに平等に、親しみをもって接してください。
- ②患者さんから何か聞かれても、わからないことはわからないとハッキリお答えください。特に、医療の専門分野については一切お答えしないでください。
- ③患者さんの個人情報（氏名、病名など）、その他病院で知ったことは、他言しないでください。ボランティアをやめた後も同様に他言しないでください。
- ④ボランティア活動参加中、けがをしたり、気分が悪くなったりした場合は、遠慮なく担当職員に申し出てください。
- ⑤職員や患者さん、又はその家族から、物品等を自分ひとりの判断で受け取らないでください。

## 2. 患者さんやその家族等への接し方についてのお願い

- ①自分に不向き、重荷と思われることについては、その理由をよく説明し、引き受けないでください。
- ②活動内容により、靴は運動靴か、かかとの低いものを履くなど、ふさわしいものを着用するよう努めてください。エプロン・名札等は病院で用意しています。
- ③他人に不快な感じを与えないよう身だしなみを整え、アクセサリーや指輪を外し、マニキュア、香水もなるべく使わないなど、活動内容によりふさわしい装いに努めてください。
- ④常に笑顔と、明るい態度を心がけ丁寧な言葉遣いで接するよう努めてください。
- ⑤個人の政治思想や宗教活動を持ち込まないでください。
- ⑥参加する前後の手洗い、うがい等に努め、自分自身の健康に十分気を付けてください。感染症等に注意し、健康で活動できるようにお願いします。
- ⑦患者さんとの対応等で分からないことがあれば、担当職員に報告ください。

## 3. 継続的な活動の場合、注意していただきたいこと

- ①ボランティア活動中に弁償の責任が生じたときは、病院が対応しますが、ボランティア保険にも加入してください。
- ②ボランティア活動にあたっては無理をせず、可能な範囲でお願いします。欠席する場合は、必ず連絡を入れてください。
- ③各々の活動は、参加日に活動記録を記入ください。
- ④私物は必ずロッカーに入れ施錠し、自ら管理してください。
- ⑤感染症等に注意し、健康で活動できるようにお願いします。

## ボランティア活動

# よくある質問

### Q-1. どうすればボランティアになれますか？

当院にお電話いただくか、直接おたずねください。担当者から御連絡いたします。

お問合せ先：当センター事務局医事グループ 田岡・船津まで

電話 06-6692-1201 内線(2181)

FAX 06-6606-7003 E-mail kyuseisogo@opho.jp

### Q-2. 病院ボランティアとは？

病院で労力、時間、技術などを提供していただくことで、患者さんにやさしさとうるおいを提供することができます。また、活動を通じてボランティア自身の成長にも役立つことができる活動です。

### Q-3. 何か資格はありますか？

特に必要ありません。

自分自身が健康であり、優しさと何事にも積極的に取り組む気持ちがあれば活動できます。

### Q-4. 活動回数はどれぐらいですか？

個々のライフスタイルに応じて決めていただいています。ボランティアの内容によっては毎週決まった曜日に来ていただいて活動してもらいますが、月1~2回の人もあります。

### Q-5. ボランティア保険とは？

ボランティア保険は市町村社会福祉協議会などが取り扱っています。費用は300円~600円です。

詳しくは、[http://www.osakafusyakyu.or.jp/vcenter/01\\_2015.pdf](http://www.osakafusyakyu.or.jp/vcenter/01_2015.pdf)

### Q-6. 報酬はもらえますか？

当センターは無報酬で活動してもらっています。活動時の経費および交通費実費(1,000円以内)については当センターで支出いたします。

### Q-7. 活動時の服装は？

活動しやすい服装でいいですが、エプロン・名札等は病院で用意しています。